

給食センターの老朽化
自校式は検討課題とならないのか
今後、様々な対策について
比較検討していく

前田 弘子議員(ネット) 学校給食センターに対しては、学校教育プラン21事業実施計画において、施設整備計画策定に向けて、プロジェクトの設置が示されている。



そこで、同センターの施設

課題とならないのか。教育部長 今後、様々な対策について意見を出し合い、比較検討していく。

による施設の改築や更新、合流式下水道の改善などのため(仮称)府中市下水道マスタープランを策定し、必要な財政計画を検討していく。

雨水浸透、雨水利用を進め
環境負荷をかけない
下水道計画策定の考えは

(仮称)府中市下水道マスタープランを
策定していく

浅田 多津子議員(ネット) 市は今後、雨水の浸透や利用を進め、次世代に環境負荷をかけない下水道計画を策定すべきと思うがどうか。

また、マンモグラフィー検診車の早期確保、休日、夜間の検診体制を整えてほしいがどうか。

市民相談事業
位置付けと今後の事業方針は

最も重要な事業と位置付け
更なる充実を図っていく

西宮 幸一議員(市フオ) 本市の市民相談事業は、市民生活の安心を支える行政サービスとして大きな意義を持つている。そこで、市政における同事業の位置付けと今後の事業方針を聞きたい。

同事業を総合的に評価する体制が必要と考えるが、同事業の評価体制に関する課題は、

再生可能エネルギーの活用
具体的な数値目標を定める考えは

地球温暖化防止対策の
課題として検討していく

重田 益美議員(ネット) 温室効果ガスの排出削減や地球温暖化防止への対応は、日本全体、また地域からも必要となってくると思う。

環境安全部長 本市では、エコハウス設備設置補助金や環境学習講座等により、広く市民や事業者へ再生可能エネルギーの利用を呼び掛けるなど、支援や啓発を行っている。

市長 同事業は、市民が安心して日々の暮らしを送るために欠かせない最も重要な事業の一つと位置付けている。

また、マンモグラフィー検診車の早期確保、休日、夜間の検診体制を整えてほしいがどうか。

そこで、太陽光など再生可能エネルギーの普及やそれによる二酸化炭素削減量等、具体的な数値目標を定める考え

環境安全部長 これから利用する市民にとって、利用者の意見は、とても参考になると思う。今後、具体的な施策について、検討していきたい。

現在も各種専門相談窓口の開設等により市民からの要望にこたえてきているが、市内各課との連携をより一層深め、更なる充実を図っていく。

また、マンモグラフィー検診車の早期確保、休日、夜間の検診体制を整えてほしいがどうか。



▲市民相談室

子宮頸がん・乳がん検診
無料クーポン券配布等に伴う本市の予定は
早期の実施に努める

隆 ミワ子議員(公明) 国は平成21年5月に、子宮頸がん・乳がん検診の対象年齢女性へ、無料クーポン券の配布と検診手帳の交付をすると公表したが、このことについて、本市における今後のスケジュールを聞きたい。

また、マンモグラフィー検診車の早期確保、休日、夜間の検診体制を整えてほしいがどうか。



▲マンモグラフィー検診車

住まいを持たない人への生活保護
最初の住まいが
一般住宅とならないのはなぜか

宿泊所へ一定期間入所してもらい
一般住宅生活が可能かを確認している

赤野 秀二議員(共産) 住まいを持たない人に生活保護を適用する場合、最初の住まいを第2種社会福祉事業宿泊所とし、一般住宅での保護とならないのはなぜか。

福祉保健部長 ほとんどの場合が路上生活を経験した方であるため、生活保護受給開始

福祉保健部長 ほとんどの場合が路上生活を経験した方であるため、生活保護受給開始

福祉保健部長 ほとんどの場合が路上生活を経験した方であるため、生活保護受給開始